

# 若手社員戦力化コース

研修時間 / 14時間

対象 入社2年目以上(20代)社員・職員

講師 日本生産性本部 講師 三浦 哲 他

参加費 (消費税10%込)	賛助会員 72,600円	一般 79,200円	*うち食事代 3,300円
------------------	-----------------	---------------	------------------

会場 日本生産性本部セミナー室(東京・永田町)他

定員 30名

## 開催日程 (通い2日)

2020年  
第86回  
5月27日(水)～28日(木)  
第87回  
9月14日(月)～15日(火)  
第88回  
10月15日(木)～16日(金)  
第89回  
11月16日(月)～17日(火)  
2021年  
第90回  
2月18日(木)～19日(金)

## 9:30

9:30

## 第1日

9:30開始

### オリエンテーション

#### 1. 組織における私たちの役割

- (1) 組織について
- (2) 自身のマネジメント
- (3) 世の中の変化と組織
- (4) 組織が求める人材=自立(律)型人才

#### 2. 役割を果たすための業務遂行力を高める

- (1) PDCAサイクルの正しい理解と実践
- (2) 問題意識を高める
- (3) 報告・連絡・相談の意義と実践

17:30

## 第2日

### 3. 業務遂行に向けたコミュニケーション力を高める

- (1) 自己成長できる人材・できない人材
- (2) 良好な人間関係づくりの心構え
- (3) 自己主張ができなくなる要因と対策
- (4) 適切な自己表現
- (5) わかりやすい伝え方
- (6) メールのお留意点

#### 4. メンタルヘルスの基礎知識

- (1) メンタルヘルスの基礎知識
- (2) ストレス耐性を高めていく

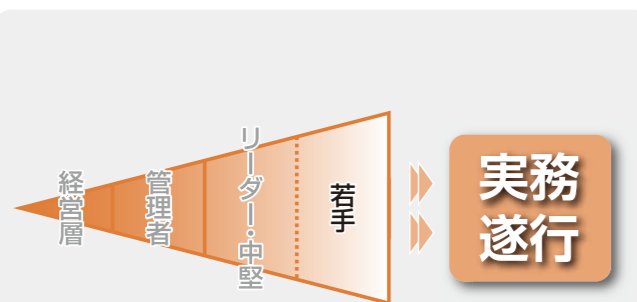
演習・ケーススタディ  
決意表明

17:30終了

## 期待される効果

- 自分の仕事や人生をマネジメントできる力を身につけます
- 組織の一員として組織の成長へ貢献していく姿勢を身につけます
- 良好な人間関係をつくるとともにストレス耐性を高めるコツを身につけます

## プログラム構成



若手社員として求められる・己の成長に寄与する意識と基礎力

- ▶ 組織における役割認識
- ▶ 自立(律)性
- ▶ ストレス耐性
- ▶ 業務遂行力

## 学習のポイント

- 現状を把握するとともに、実務スキル・意識を学び成長へ繋げる  
自身の現状分析を行い、若手社員を取り巻く環境について考察を進めていきます。そのうえで求められる役割と必要なスキル・継続的に成長するための心構えを確認します。
- 「知っている」から「実践できる」スキルを習得する  
事例・ケースを通じて「できること」を増やしていく具体的な手法を学習します。

## 特徴

- ケース・モデル事例を多用した演習により、自身の分析を行います。ありがたい姿や行動計画を立てる際の指針を学びます
- メンタルヘルスの基礎知識を学ぶことによりストレス耐性を高め、持続的にモチベーションを保つコツを学びます
- 個人の業務遂行から、現場の中核・リーダーとして求められる役割や行動を学びます

## プログラム概要

### ●自身の現状分析

自身の強みや弱みについて、経験を振り返りながら、考察と分析ツールを併用して理解を深めます。

### 1. 組織における私たちの役割

環境変化の速い時代において、自身が身を置く「組織」はどのような原理原則・構造で成り立っているのかを理解し、「職場における多様性」や「働き方改革」などをどのようにとらえ受容するのかを考察します。そのうえで、「仕事のマネジメント」「人生のマネジメント」の必要性について認識を深めます。

### 2. 役割を果たすための業務遂行力を高める

自身が担っている役割を果たすために必要なスキルや考え方を講義・演習にて実践します。具体的には、日々の業務遂行に求められる「情報収集・問題解決」「タイムマネジメント」「報告・連絡・相談」「PDCAサイクルの実践」のスキルアップを図ります。

### 3. 業務遂行に向けたコミュニケーション能力を高める

組織でよい仕事をするために必要なスキルとしてコミュニケーション能力を高めます。演習を交えながら、人間関係におけるコミュニケーションの機能や効果を体得します。

### 4. メンタルヘルスの基礎知識

粘り強く業務に取り組むことができるようにストレス構造などメンタルヘルスの基礎知識を習得し、自身でできる具体的なケアを学びます。更にストレス耐性を高めるコツを習得します。

### 5. 総合演習

学んだ知識を活かした事例に基づき対応策と具体的な行動を検証します。また、研修後、自身のありがたい姿、それに基づく行動計画について考え実践できる内容に具体化します。

「肅々と業務をこなすひとり」から、  
「業務を遂行する組織の一員」へ



## ▶ 本コース受講後の推奨プログラム

- ①中堅社員自己活性化コース(P.57～58)
- ②ロジカルスキルコース各種(P.73～75)